

総合・外国語部の活動

部長 中村 美恵子（神山小学校）

研究テーマ 子どもたちが主体的に学ぶ授業・支援のあり方

1 はじめに

新学習指導要領が完全実施となり、外国語活動の授業・支援のあり方が注目されている。そこで、教師自身が外国語を理解し、実際に体験することを通して、子どもたちの主体的な学びのあり方を探ろうと考えた。

また、総合的な学習の時間は、時間数が減り、活動が精査される中、各校は特色ある取組をしている。単元計画の情報交換を行うことで、子どもたちが主体的に学ぶ授業・支援のあり方を探ることができるのではないかと考えた。

2 事業の概要

4月21日（木）組織の構成・役割分担、事業計画の作成

6月 8日（水）講師を招いての外国語活動研修会

11月29日（火）「総合的な学習の時間」取組の情報交換会

3 事業の実際

（1）講師を招いての外国語活動研修会（於：水原小学校）

「授業に役立つ英語活動」

講師：こまむら児童教育社 様

①ウォーミングアップ（チャンツ・歌・ミニゲームなど）

②「英語ノート1・Lesson4」活動の実際

③英語活動を行うに当たっての留意点・質疑応答

英語ノートを用いた活動では、講師に続いて部員も教師役となって様々なゲームをリードした。

テンポよく、楽しく授業を構成すること、簡単すぎず、難しすぎない課題を設定することが意欲的に英語活動に取り組みさせるポイントであると感じた。



（2）「総合的な学習の時間」取組の情報交換会（於：神山小学校）

各校の単元計画を持ち寄り、中学校区を主としたグループで取組を話し合った。単元の構成、課題設定のあり方、体験活動・見学の場所などを紹介し合い、より子どもたちが主体的に学ぶことのできる単元づくりについて考えた。



4 おわりに

2つの研修会は、いずれもすぐに学習に生かすことのできる内容であった。また、各学校の課題や優れた取組について情報交換をするよい機会となった。今後、情報交換したことを生かして、充実した総合・外国語活動を展開していきたい。